

浅間山火山ガスの周辺環境への影響の解明

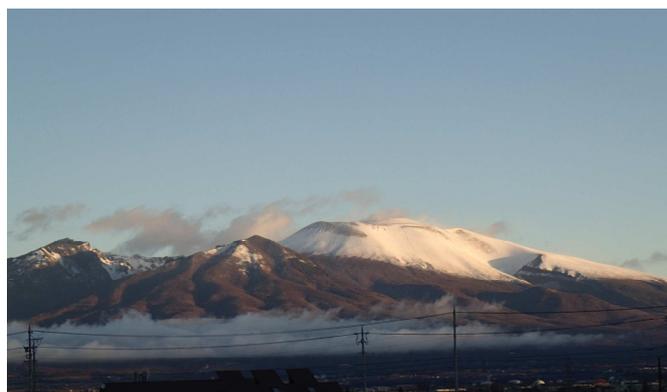


長野県環境保全研究所 大気環境部

軽井沢コンテナ局で測定していた大気中の二酸化硫黄濃度データを詳細に解析し、浅間山が噴火した際に発生する火山ガスによる周辺環境への影響を推定します。

なぜ研究が必要なの？

浅間山は、本県を代表する活火山で、これまでも噴火を繰り返しており、近年は火山性地震が増加するなど火山活動が活発な状態となっています。活火山が噴火すると、二酸化硫黄を含む火山ガスが放出され、周辺環境に影響を及ぼす恐れがあります。



▲浅間山

もし浅間山が **噴火** したら・・・？

二酸化硫黄の高濃度は何時間くらい続くの？

浅間山周辺の二酸化硫黄の濃度が高くなる時の気象条件は？

どれくらいまで二酸化硫黄の濃度が上がる？

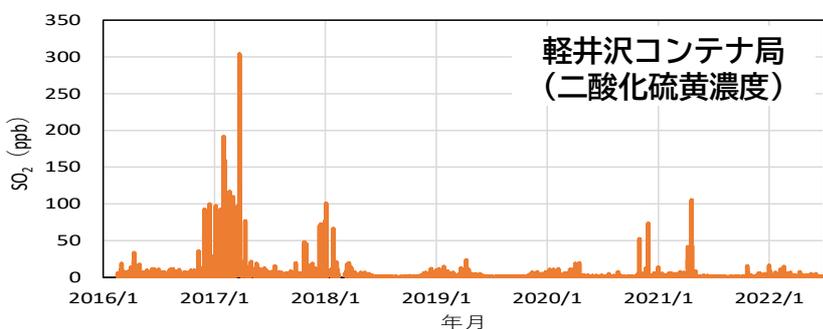
これらの疑問を解消し、住民の安心安全につなげるため、この研究に取り組みます

どうやって研究するの？



▲軽井沢コンテナ局

浅間山の南東約9kmに位置しており、2016年から大気中の二酸化硫黄濃度等のデータを収集、蓄積しています。



得られたデータの解析

- ・二酸化硫黄の高濃度事例を抽出
- ・高濃度事例発生時期及び時間変動特性を解明
- ・高濃度事例発生状況と浅間山の二酸化硫黄放出状況の対応関係を流跡線解析を用いて解明
- ・高濃度事例発生時の気象状況を解明